

一般 質問

令和7年 6月定例会



水道の未接続解消を

景山 登美男 議員

再検討では、ごみ処理の民間委託の可能性や、施設整備を行う場合の規模・手法など、施設のあり方を含め多角的に検討する必要がある。当面は雲南市の新ごみ処理施設整備準備室で対応を進めるが、再検討結果が出れば雲南広域連合が事務を行うことで合意している。

この整備事業は早急に取り組むべき行政課題であり全力で取り組む。

Q 再検討後は雲南広域連合で

町長塚原隆昭

佐見地区の水量不足は、新

Q 未接続地区解消に努める

町長塚原隆昭



たな井戸掘削と安定供給が可能な敷波浄水場からの送水で検討している。

接続率が低い原因は、簡易水道整備が遅れ、井戸水などに対応してきた世帯が多いことにある。個人管理よりも町管理の簡易水道が安全に安定供給できる利点を説明し、未接続解消に努める。

都加賀、長谷、獅子の各地区は家屋が点在し、中心部から離れていることから、多額の事業費がかかる。簡易水道だけでなく、戸別井戸への助成も視野に検討を進める。

Q 効果的施策を推進

町長塚原隆昭

物件価格は所有者の意向で決定されている。

定住支援センターでは、空き家所有者に対し不動産鑑定士による価格評価も提案している。この方法は適正価格設定と契約手続きの安心に繋がるため、依頼が増加傾向にある。

本町では空き家の改修・片付け費用補助などの支援事業を行っている。既存の支援策を検証し、より効果的に推進できるように組み立てる。

Q ごみ処理施設再検討所管の明確化を

ごみ処理施設整備費用が大幅に増加する見込みのため、民間業者への業務委託も視野に入れた再検討を進めるとの報告があった。

再検討に異論はないが、この事業は雲南圏域全体の重要課題で、雲南広域連合が所管すべきだと考えるがどうか。

Q 水道供給網整備は

佐見水道の水量不足改善と、接続率の低い佐見、奥畑、宇山、敷波への対策を尋ねる。

さらに、簡易水道未整備地区(都加賀、長谷、獅子地区)への町の考えと、具体的な整備方針を問う。

Q 空き家バンクの価格設定支援を

空き家バンクの登録物件は、賃料や売却価格の算出が不明瞭だ。

定住支援センターでは適正価格の算定も困難で、最終契約の手続きはしていない。スムーズな契約成立のため、手数料を助成し、専門業者に依頼してはどうか。

漬物文化を残したい

内藤 眞一 議員



Q 山荘建替への財源案を

琴引ビレッジ山荘は、スキーシーズン以外の利用者は少ないが、宿泊者がいる以上、必要な施設だ。特に、盆や正月に町出身者が帰省しても予約が取れないケースがあると聞く。山荘は、元々中国電力の簡易宿泊所を旧頼原町が改装したものだ。

島根原子力発電所事故時の避難所としての重要性が高まる中、避難が長期化した場合に備え、この山荘を宿泊施設として活用すべきだと考える。昨年、松江市大野地区住民が本町へ避難訓練の下見に来たが、特に高齢者が多い地域からの避難を受け入れるには、学校や体育館だけでは不十分だ。

山荘の建て替え費用の一部を中国電力から支援してもらえば理想的。中国電力は、島根半島防災対策に50億円を拠出するなど、原発事故への対応に非常に敏感であるため、周辺市町だけでなく避難先への支援も検討されるべき。

したがって、中国電力の意向を最も重視するであろう島根県知事に働きかけ、知事と共に中国電力へ支援を要請することが有効な手段となると考えるがいかがか。

A 幅広く探す

町長塚原隆昭

新たな宿泊施設を建替える場合の財源について、今回の提案にあった中国電力からの補助金・支援については、現時点では不明。

しかし、民間団体からの助成制度なども含め、幅広い選択肢を検討し、有利な財源を確保していく必要がある。

提案も念頭に置き、進めていきたい。

Q 漬物補助金手続き簡素に

本町では、食品衛生法改正で漬物製造に営業許可が必要となったことを受け、「飯南町漬物製造事業継続支援事業補助金」を創設した。この補助金は、許可取得に必要な整備費用の一部を支援するものだ。

しかし、金銭的な問題よりも、許可申請の手続きが煩雑なことが課題となっている。これにより、高齢者の生きがいでもある漬物作りが難しくなることを懸念する声が上がっている。

漬物は色々な味があるからおいしく、創る文化であり、その楽しさを守るべきだ。申請書類作成や図面作成など、住民が困っている部分を支援することで、漬物文化を維持し、生産者の喜びにも繋がるのでは。

A 積極的に支援

町長塚原隆昭

雲南保健所およびJAと連携し、この制度や手続きに関する説明会を改めて開催したい。

希望される方々への書類作成や図面作成についても、積極的に支援を行う。

